

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	29	1	基本事務事業名	高速道路整備事業	事務事業名	(仮称)阿波スマートIC設置事業	公的関与	3	シート作成日	令和6年5月31日				
	部局名	建設部		課名	特定事業推進課	主務課長名	住友 浩生	シート作成者名	森 健人						
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input checked="" type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		5. 明日への基盤が整った阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2)道路・公共交通の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和 1 年 ~		令和 7 年 <input type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(1)徳島自動車道の整備促進				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		(仮称)阿波スマートIC											
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	四国縦貫自動車道の土成IC・脇町IC間に(仮称)阿波スマートICを設置します。											
			今年度	改良工事。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 事業地の測量、調査。														
	② スマートICおよび関連道路の設計。														
	③ 事業に係る用地境界立会。														
	④ 用地の交渉及び取得。														
	⑤ 工事の発注～竣工。供用開始														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標					
	(仮称)阿波スマートIC		進行状況		%		目標	11	33	67	100				
							実績	17	18						
							目標								
							実績								
							目標								
						実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	7	スマートIC整備事業費
	直接事業費			令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算	備考								
		国庫支出金		16,339 千円	5,638 千円	16,585 千円									
		県支出金		千円	千円	千円									
		地方債		101,600 千円	49,500 千円	246,600 千円									
		その他特定財源		7,348 千円	千円	千円									
		一般財源		9,622 千円	5,415 千円	335 千円									
	計(A)		134,909 千円	60,553 千円	263,520 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費		4,000 人	24,169 千円	4,000 人	24,239 千円	3,000 人	17,858 千円						
		会計年度任用職員職種													
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円								
全体事業費(A+B)		159,078 千円		84,792 千円		281,378 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価			
		1.	2.	3.	4.	総合評価	○ 少ない	● 大きい	スマートICの設置による高速道路へのアクセス性向上によって、救急医療活動への支援や、災害発生時の物資輸送活動の効率化等を推進する必要性があります。	○ 少ない	● 大きい				
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある	○ ある	● ない	○ いる ● いない	○ いない ● いる		スマートICの設置により、高速道路へのアクセス性が向上することから、農業・工業・観光等における、地域活性化への有効性が期待できます。	○ ない	● ある	○ いる ● いない	○ 少ない ● 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ある	● ない	○ いる	● いない			○ ない		● ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ できる	● できない	○ できない	● できる			○ する		● しない	○ できる			● できない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ 目標に比べて劣っている	○ あまり上がっていない	○ 概ね達成している	● 十分達成している			○ 目標に比べて劣っている		○ あまり上がっていない	○ 概ね達成している			● 十分達成している
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ 高い	● 適当	○ できる	● できない	○ ある ● ない	○ ある ● ない	共同事業主体である西日本高速道路(株)と調整を行い、効率的な進捗に努めています。競争入札により工事費の抑制に努めています。	○ 高い	● 適当	○ ある ● ない	○ 少ない ● 大きい		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ できる	● できない	○ ある	● ない				○ できる	● できない				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ ある	● ない	○ ある	● ない				○ ある	● ない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ 高い	● 適当	○ できる	● できない				○ ある	● ない				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 高い	● 適当	○ できる	● できない	○ ある ● ない	○ ある ● ない	共同事業主体である西日本高速道路(株)と調整を行い、効率的な進捗に努めています。競争入札により工事費の抑制に努めています。	○ 高い	● 適当	○ ある ● ない	○ 少ない ● 大きい		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ できる	● できない	○ ある	● ない				○ できる	● できない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ ある	● ない	○ ある	● ない				○ ある	● ない				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 高い	● 適当	○ できる	● できない				○ ある	● ない				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	○ できる	● できない	○ ある ● ない	○ ある ● ない	共同事業主体である西日本高速道路(株)と調整を行い、効率的な進捗に努めています。競争入札により工事費の抑制に努めています。	○ 高い	● 適当	○ ある ● ない	○ 少ない ● 大きい		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない	○ ある	● ない				○ できる	● できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない	○ ある	● ない				○ ある	● ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ 高い	● 適当	○ できる	● できない				○ ある	● ない				
ACTION	評価点	一次評価					二次評価								
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価				
	今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止						
	当面の課題	徳島県、西日本高速道路(株)及び本市において随時協議を進めるとともに、並行して工事が行われる徳島自動車道4車線化工事(西日本高速道路(株)発注)との調整が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
	改革案と実行計画	工事が進行中であるため、関係機関と連携を図り、地元関係者等丁寧な対応を進めます。					スマートインターの整備は本市の重要施策であり、現在、徳島県、西日本高速道路(株)及び本市において随時協議を進め、地元関係者の皆様のご理解をいただき着実な事業遂行に努めています。今後においても、関係機関と綿密な連携を図りながら、工事竣工・供用開始を目指し事業を推進します。								
委員会指摘事項															